

令和4年度第7回教育委員会議定例会会議録

- 1 日 時 令和4年10月31日（月） 午後1時30分
2 場 所 滝沢市役所 庁議室
3 出席委員 教育長 熊谷雅英
委員 佐藤恭孝
委員 菊池直子
委員 大石園
委員 井上 美津男

- 4 説明のために出席した職員
教育次長 久保雪子
教育総務課長 滝田俊一
学校教育指導課長 内川千亜希
生涯学習スポーツ課長 朝岡将人
文化振興課長 岡田久美
学校給食センター所長 松本昭彦

5 議題及び議事の概要

教育長 これより令和4年度第7回教育委員会議定例会を開会します。

（開会時刻 午後1時30分）

教育長 本日の出席委員は定足数に達していますので会議は成立します。

教育長 日程第1。会議録署名委員の指名についてお願いします。

教育総務課長 大石委員をお願いします。

教育長 それでは本日の署名委員は大石委員をお願いします。

教育長 日程第2。会期の決定については本日1日としたいと思います。これにご異議ございませんか。

（全員異議なし。）

教育長 会期は1日とします。

教育長 日程第3。教育長の事務報告であります。別紙のとおりであります。何かご質問がありましたらお願いします。

委員 10月3日に開催された、オータムレビューの内容についてお伺いします。

教育次長 年度当初、各部各課からの懸案事項や重点事項について、三役に対して説明しましたが、今回はその後の進捗状況や今後の方針について再度説明したものです。教育委員会としては、生涯学習スポーツ課からは健康づくりの政策、学校教育指導課からは部活動の教職員対応の施策、給食センターからは給食センター内の施設設備の更新等について、教育総務課からは学校用務員の今後の任用について、それぞれ説明させていただきました。

教育長 それぞれの部局の懸案事項についての市長への説明と、また改めて市長から各課で所管する事業についての課題を挙げていただいたものです。

教育総務課長 教育総務課としては学校用務員の新規採用がない中、今後の任用の在り方について教育委員会としての考えを示しました。各学校に一人の正規職員の学校用務員の配置は必須とし、大規模校への二人目の配置にあたって将来的には会計年度任用職員の任用も検討しています。

教育長 教育委員会としては各校に一人の正規職員の配置は必須と考えています。労務職員としての採用については運転手も同様の状況であり、今後の配置について検討している状況です。

学校教育指導課長 学校教育指導課は、部活動における教員の負担の軽減について説明させていただきました。国では令和5年度から7年度にかけて部活動の地域移行を進めていくとしております。本市は部活動のガイドラインに則り部活動を実施し、部活動指導員を市内中学校に3名配置しています。今後は部活動指導員を増員し、教職員の負担の軽減につなげてまいります。学校が希望する種目と地域人材のマッチングや放課後の短時間に対応できる人材確保等が課題ですが、地域の力を学校に取り込み、部活動の種目を精選しながら、各校2名以上の顧問の配置についても今後検討していきます。

教育長 部活動への対応が教職員の業務の負担になっていることは社会問題にもなっています。教育委員会として地域移行については現在模索中であり、地域の方とも相談しながら検討していきたいと考えております。

生涯学習スポーツ課においては、市の健康づくり施策と連携して市民がスポーツへ取り組んでいくこと、給食センターの設備更新については、長期的な見通しをたてて進めていくことを確認しました。

委員 市内小中学校の学習発表会を観覧に行きましたが、合唱のレベルが以前よりかなり上がっておりました。日々の先生方のご指導の賜物だと思いますし、児童生徒の切磋琢磨する姿に大変感動いたしました。

教育長 学習発表会が例えば劇から合唱への移行など、発表会の在り方も変わってきていると感じています。

教育長 それでは次に進みます。日程第4、議案第1号「教育委員会の事務に係る点検及び評価の報告書に関し議決を求めることについて」を議題とします。事務局の説明を求めます。

教育次長 (資料により提案理由を説明)

教育次長 (資料により説明)

教育総務課長 (資料により説明)

学校教育指導課長 (資料により説明)

生涯学習スポーツ課長 (資料により説明)

文化振興課長 (資料により説明)

給食センター所長 (資料により説明)

教育長 何かご質問はございませんか。

委員 基本施策の達成状況評価で、ほとんどが「B 概ね達成した」ということですが、「A 達成した」の評価が妥当と感じるものもありました。新型コロナウイルス感染症の影響は全国的なものであり、数値が下がった事業があるのはやむを得ないことと思います。

教育長 次長より2つの指標について説明いたしました。指標1「子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合」は教育振興運動やコミュニティスクールの導入により順調に伸びていますが、指標2「趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合」は、コロナ禍の影響を受け下がっています。

学校教育部門では授業日数を減らさずに取り組んできましたが、ラーニングサポーターの派遣事業については人数が減っています。また不登校児童生徒数の増加については、国も新型コロナウイルス感染症の影響があったとしていますが、

不確定要素も多いようです。

委員 学校給食について、重点課題の達成で給食費の現年分収納率99%以上というのは、よくやってもらっていると思います。また、「食に関する指導」の取り組みも継続してほしいと思います。

給食センター所長 「食に関する指導」については全小学校の5年生を対象としており、子どもたちに対して食の大切さを栄養教諭から指導しています。学校によっては他学年も実施しています。

教育長 政策目標値の達成状況についてですが、A評価は100%以上のみです。しっかり事業に取り組んでもB評価となることが多いです。

委員 先ほど、コミュニティスクール事業で数値が上がっている状況とお聞きしたので、今後地域との連携が深まれば、さらに達成状況が上がることが予測されます。

教育長 皆様からの意見を踏まえて今後も教育委員会として取り組んでいきたいと思えます。

教育長 他にご質問がありましたらお願いします。

(特になし)

教育長 それでは、議案第1号は原案どおり決定してよろしいですか。

(全員異議なし)

教育長 それでは、議案第1号は可決されました。

教育長 以上をもって、本日の日程は終了しました。教育委員会議定例会を終了します。

(閉会時刻 午後2時50分)

6 会議録作成者 教育長 熊谷 雅英

7 会議録署名委員

教育委員

教育長